

議会だより

# 東くら

第147号

令和2年  
11月10日発行

発行 鹿兒島県東申良町議会  
編集 広報広聴常任委員会  
電話 0994-63-3132(直通)

ママに  
たくさんの絵本を  
読んでもらってね★

関連記事 P.20



令和元年度決算を認定……………	2
一般質問「交通弱者への交通手段」等……	8
「みんなで語る会」を開催します ……	17

# 結果を査定し認定

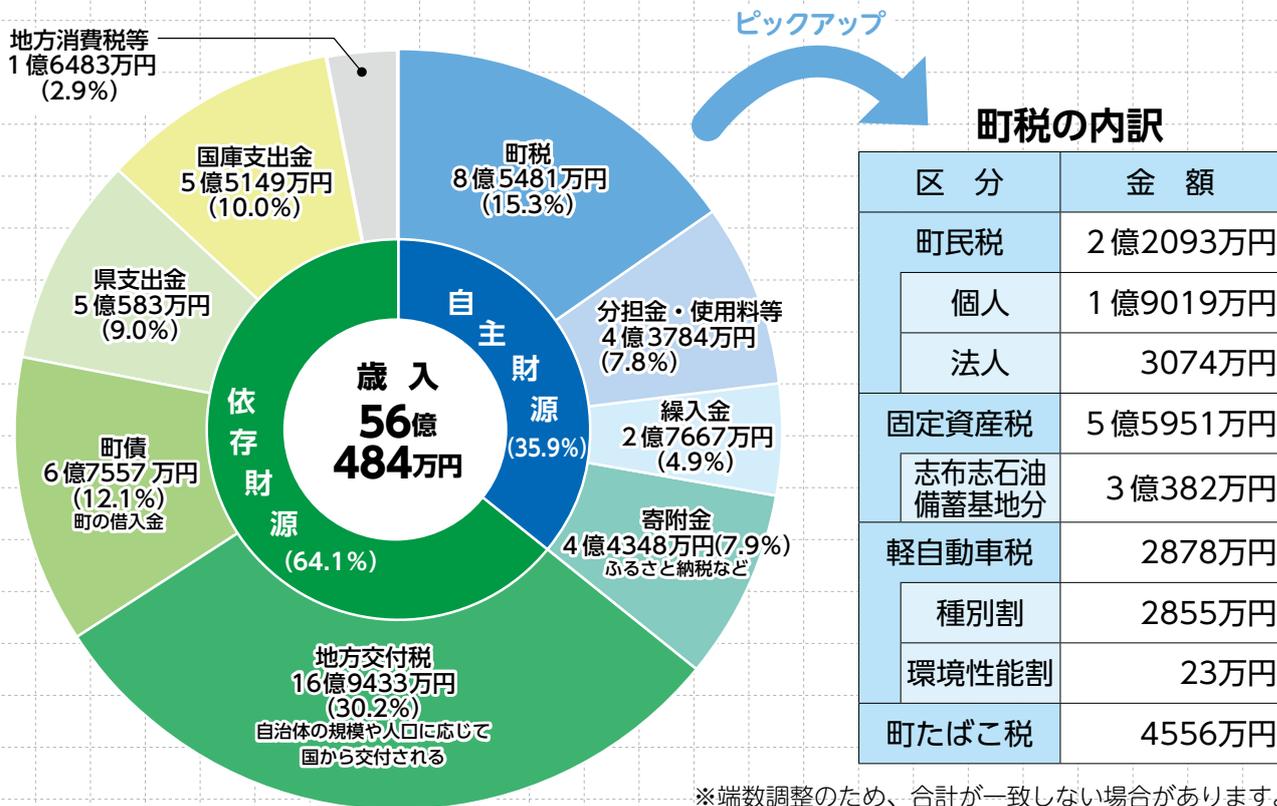
令和2年第3回定例会は、9月10日から9月28日までの19日間の会期で開きました。今定例会では、報告1件、単行議案5件、補正予算7件、決算認定6件等を審議しました。(関連記事P.4～7に掲載)

一般質問には4人の議員が登壇し、執行部に

質問を行いました。(関連記事P.8～P.12)

また、令和元年度一般会計、各特別会計の決算は、決算審査特別委員会を設置して審査を行い、全ての会計の決算を認定しました。

なお、令和元年度一般会計歳入歳出の決算のあらまは次のとおりです。



健全化判断比率の区分	早期健全化基準	令和元年度
①実質赤字比率	15.0%	-
②連結実質赤字比率	20.0%	-
③実質公債費比率	25.0%	7.4%
④将来負担比率	350.0%	-

令和元年度東申良町健全化判断比率(左の表)は、全て早期健全化基準以下でした。このことは、東申良町の財政が良好な状態を示しています。※数値がマイナスになる場合は、「-」で表示しています。

## 財政は「良好」継続中

自主財源、対前年度比約3億6482万円減  
主な理由は、ふるさと納税寄附金が2億8299万円減です。ふるさと納税制度の返礼品の規制が厳しくなり、寄附金の件数も半分以上の減となっています。また、志布志石油備蓄基地にかかる固定資産税(国有資産等交付金)は、約4千万円の減となっていて、償却資産評価額の減により、年々減額しています。

令和2年  
9月議会

# 元年度決算、事業



▲小学校の新しい遊具



▲芝張りをした円山公園内



▲改築後の堆肥センター内

## ●令和元年度に行った事業

### ★教育環境

- ・両小学校エアコン設置事業
- ・両小学校遊具設置事業

### ★観光整備

#### 【コミュニティ広場】

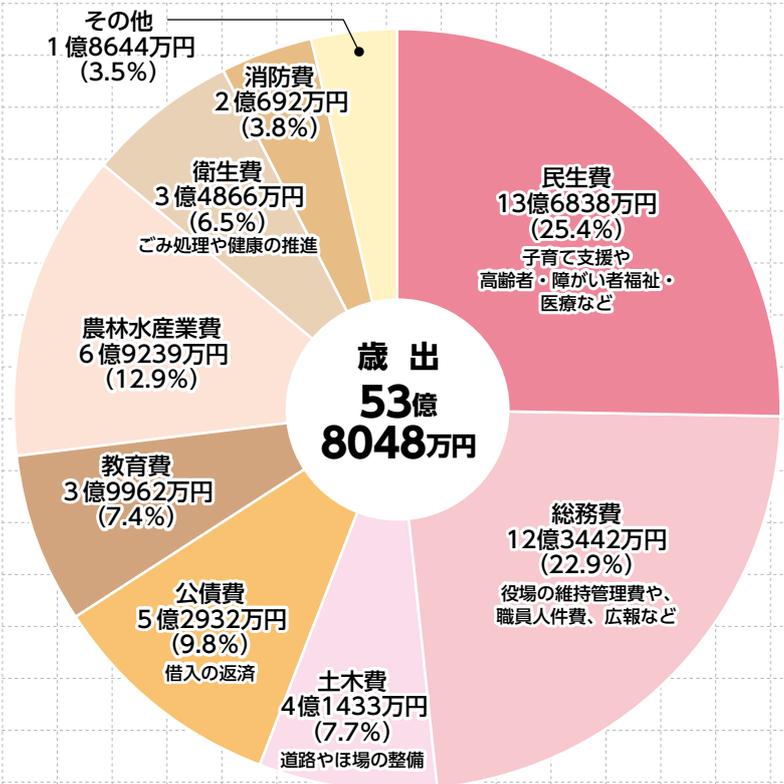
- ・トイレ新築工事
- ・ウォーキングコース設置工事
- ・3on3バスケットコート

### ★農畜産業

- ・堆肥センター施設等整備事業
- ・農地維持・資源向上交付金事業

### ★他にも

- ・柏原地区定住促進団地
- ・農地耕作条件改善事業下伊倉地区
- ・池之原安留線改良舗装事業など



## 令和元年度各会計歳入歳出決算状況

※1万円未満を切捨てています

会計名	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	56億484万円	53億8048万円
国民健康保険特別会計	11億4592万円	11億2309万円
介護保険事業(保険事業勘定)特別会計	9億4103万円	8億7083万円
介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計	718万円	486万円
後期高齢者医療特別会計	9148万円	9074万円
簡易水道事業特別会計	1億2460万円	1億370万円
合計	79億1507万円	75億7370万円
前年度決算額との比較	3%減	2%減

### ▼基金(貯金)

24億6096万円

### ▼町債(借入金)

57億2147万円

令和元年度末現在の一般会計と特別会計の合計です。

### 町の借入金と貯金

# 決算審査の報告

## — 決算審査特別委員会 —

決算審査は予算執行の結果を審査するとともに、その結果から把握した改善、反省すべき点を次年度以降に活かすものです。

決算審査特別委員会では、令和元年度の一般会計及び各種特別会計を審査しましたので、その結果を報告します。

### 予算執行・事業効果 評価する意見

● 海岸漂着物等地域対策推進事業及びビーチクリーナーの活用により、柏原海岸のゴミ撤去に努めている。今後も継続的な事業推進を望む。

● ふるさと納税は、自主財源の確保に大きく寄与している。

● 柏原地区における初の定住化促進事業の実施及び東串良町移住者促進事業補助金の活用による政策は、人口増加につながっている。



柏原地区初の定住貸付用地

● 円山公園内の芝張り、コミュニティ広場内のウォーキングコース及び3 on 3 バスケケットコートを設置並びにルピナスロードの改修により、町民の憩いの場が整備され健康増進対策としても寄与している。



3 on 3 バasketコートを設置

● 東串良町鳥獣被害対策協議会の活動により、有害鳥獣の捕獲実績が上がっている。

● 東串良町有機堆肥センターは、老朽化した施設の改修工事を行ったことにより、堆肥

生産の性能が向上し、より多くの農家へ供給できるようになっている。

● 小学校にクーラーが設置され、快適な教育環境の整備ができています。

● 学校においては、PDCAサイクルに基づき実態把握と課題の明確化を図り、学校運営の推進がなされている。

● 充実した保健事業により、生活習慣病予防及び疾病の早期発見に取り組んでいる。

● 保育園の副食費の補助により、子育て世代の負担軽減が図られている。

● 障がい児に対してサービスマテリアルの助成など、支援事業が充実している。

● 季節性インフルエンザ任意接種費用助成事業では、特に13歳未満の子どもを対象に2回目の予防接種も対象としていることから、保護者の負担軽減が図られると共に罹患予防に役立っている。

● 集落などを単位としたいきいき体操やころばん体操等の普及で、高齢者の元気度アップ事業が推進されている。

● 柏原海岸のトイレやコミュニティ広場のトイレ等、町内の公共施設のトイレは、徐々に洋式化されている。



コミュニティ広場のトイレを新設し、洋式化へ



# 町当局に17項目の政策を提案

## 住みやすいくつづくり

▼高齢者や交通弱者の交通手段については、環境に配慮した町営バスや交通チケット等を検討すべきである。

▼総合センターや高齢者福祉センターなど公共施設の老朽化が激しく、今後においてこうした施設の修繕費など多大な財政支出が懸念される。真に必要な施設を再検討し、また災害時の避難所としての機能も併せ持つ複合施設の整備に向けて早急な検討を進めるべきである。

## 地域の活性化

▼地方創生推進事業により2件の古民家を活用し改修したシェアハウスが整備されているが、まだまだ活用が少ない。その整備の目的を十分に踏まえ、関係機関等との連携をはかり事業効果が発揮できるように対策を講じるべきである。

▼柏原地区における人口減少は喫緊の課題である。町当局と議会、町民の知恵と工夫を総結集してこの課題に取り組むべきである。

▼町花ルーピンの管理等については、引き続き万全の対策を望む。

## 健康への心づかい

▼児童・生徒の学力・体力向上については、継続的かつ即効性のある対策が望まれる。

▼65歳以下の死亡率が高い。健康管理と疾病の早期発見のため、今後も更なる健診への啓発や保健指導が望まれる。

## 財源確保

▼資金運用は、財政状況及び社会情勢等を見ながら確実な運用を望む。

▼滞納繰越となっている過年度分の国民健康保険税の徴収率が悪い。悪質な滞納者には保険証を渡さないなどの対策が必要である。

▼補助団体において、決算繰越額が多額となっている団体を散見した。補助金交付の趣旨を十分に周知するとともに、活動目的を達成できない場合、補助金は減額するか交付しないとすべきである。

▼本町の安定した行財政運営のためには、今後とも地方交付税や国有資産等所在市町村交付金、石油貯蔵施設立地対策等交付金等の制度維持を引き続き政府に強く求めていく必要がある。かつ、石油貯蔵施設立地対策等交付金については、一般財源化への取り組みとして全国石油備蓄協議会等での積極的な要望活動を求める。

また、町税等の収入未済額の解消など自主財源の確保に万全を期すことを求める。

## 人材育成

▼姉妹都市の協定を結び、人と物の交流が図られる政策を進めるべきである。

## 基幹産業の振興

▼令和2年7月から農業委員及び農業推進委員も人員増となった。今後は、水土里サークル事業との連携を図りながら、耕作放棄地の解消に継続的に努めるべきである。



耕作放棄地の解消を求める

## 職員体制

▼徴収の専門員を配置し、徴収の強化を図るためにも滞納処分を積極的にすすめるべきである。公平性に努めるべきである。

▼中央地区水道の有収水率が依然として低い。今後も継続して徹底した漏水調査等を実施していくべきである。

▼建設課職員は現場での工事関係者への指導など、相応の専門的知識を必要とする。職員配置については技術職員の採用を進めるべきである。



複合施設の整備に向けて早急な検討を

▼堆肥センターの機器については、家畜糞尿を取り扱うため腐食が進みやすい。また、異物混入により損傷を受けやすいので定期的な点検・整備を求める。



定期的な機器の点検・整備を求める

# 補正予算

6件の補正予算(全て増額)を全て原案可決しました。

会計名	補正額	補正後の総額	主な内容(歳出)
一般会計	9億8112万円	74億700万円	・地域介護基盤整備事業費 ・ふるさと納税関連経費 ・池之原境線の道路整備
国民健康保険特別会計	17万円	11億1402万円	・会計年度任用職員報酬等
介護保険事業(保険事業勘定)特別会計	417万円	9億8953万円	・会計年度任用職員報酬等
介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計	241万円	677万円	・一般会計繰出金
後期高齢者医療特別会計	907万円	1億42万円	・被保険者保険料
水道事業会計(収益的支出)	451万円	1億1981万円	・職員の給与

## 固定資産評価審査委員会委員の選任

竹之内広臣氏(池之原541)を、新たに固定資産評価委員に選任する提案があり、同意しました。  
任期は3年です。

## 損害賠償額の決定

今年6月4日、会計年度任用職員が公用車運転中に起こした事故に関して、被害のあった相手方へ治療費や慰謝料など損害賠償として64万6638円を支払うものです。

## 陳情2件を採択

### 永峯地区農道の道路整備について

#### 陳情者代表

中野勝利(川東3167)

▼**審査結果** 未舗装のため路面がでこぼこし、水はけが悪く水たまりができており、農作物の管理や出荷においても通行の不便さを確認したところであり、全会一致で採択しました。



永峯地区農道の整備を望む

### 国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める意見書採択についての陳情

#### 陳情者 新日本婦人の会

東串良支部長 吉川洋江

(池之原59)

▼**審査結果** コロナ禍における教育環境の改善を推進し、子どもたち一人ひとりにゆきとどいた教育を保障するためには、20人学級を展望した少人数学級の実現が必要であり、このことは国の責任で行うべきである、全会一致で採択しました。  
このことにより議会は、関係機関へ意見書を提出しました。意見書の概要は次のとおりです。

## 国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める意見書

1. 子どもたちのいのちと健康を守り、成長と発達を保障するため、緊急に20人程度で授業ができるようにすること。そのために教職員増と教室確保を国の責任で行うこと。
2. 「20人学級」を展望し、少人数学級を実現させること。そのために国は、標準法を改正し教職員定数改善計画を立てること。



提出先:衆議院議長、参議院議長  
内閣総理大臣、文部科学大臣

## 地方交付税等の 財源確保を国に 要望

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがなくなっています。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想されます。

本町においても、地方交付税や国庫支出金等の依存財源は収入の約64%を占めております。こうした財源が減額されると、町政の運営において多大な支障をきたすこととなるため、当議会では国に対して、次のとおり意見書を提出しました。

## 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う 地方財政の急激な悪化に対し 地方税財源の確保を求める意見書

1. 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
2. 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。
3. 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
4. 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。
5. 特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来を持って確実に終了すること。

提出先:衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣

## 第5回臨時会

8月20日に第5回臨時会を開きました。この臨時会では、承認1件、補正予算1件を審議しました。

### 【承認】

7月の大雨による岩弘地区の土砂崩れ等の復旧に向け、測量の委託料、応急復旧工事等の補正予算を全会一致で承認しました。

復旧作業は県の補助事業等を活用しながら進めていく予定です。(関連の写真は18ページに掲載)

### 【補正予算】

一般会計に1億8076万円を追加し、全会一致で原案可決しました。

### 補正後の主な使いみち

●東申良町えがお給付金  
(1人あたり2万円給付)  
1億3038万円

●タクシー応援給付金  
160万円

# 一般質問

# 町政を問う

## 一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねます。

単に疑問をはらし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動です。

本町議会の質問時間は、質問と町長等の答弁をあわせて1人60分以内となっています。

### 児玉 勇治 (9ページ)

- タクシーに代わる移動手段は
- 柏原海岸の流木等はどこが、どのように対処するのか

### 瀬戸山 譲一 (10ページ)

- 情報発信、インターネット活用と今後の運営
- 外来生物や水不足問題の認識

### 宮地 利雄 (11ページ)

- 少人数学級に向けた教室・教員を増やせないか
- 避難所の設備、段ボールベッド、トイレの確保は

### 小川 香織 (12ページ)

- 中学3年生へ学習支援金を払えないか
- 急な休校時に栄養面を考えた食事支援

※掲載内容については、質問者が質問と答弁を要約し、東串良町議会広報広聴常任委員会が編集したものです。

## 会議録の設置

定例会や臨時会の会議録は、次の町内3箇所に設置しています。また、町のホームページでも見ることができます。

☆役場1階ロビー本棚 ☆福祉センター  
☆総合センター

是非ご覧ください！



【東串良町 HP】





児玉 勇治 議員

# Q タクシーの経営危機と交通弱者対策は考えているか

# A 町ぐるみでタクシーを守りたい

## ? 持続化給付金とは?

感染症拡大により、営業自粛等で特に大きな影響を受ける事業者に対して、事業の継続を支え、再起の糧としていただくため、国が給付する「事業全般に広く使える給付金」。

**児玉** 公共交通事業者応援給付金が160万円予算化されたが、給付金の額は来年の3月までの収入を見越して算出した金額か。  
**町長** 法人の場合、国の持続化給付金は対前年と今年の前月と比べて50%以上の収入減があるとき、200万円を上限に支給される制度である。  
K・T交通の場合、前年と比較し約45%減収となり、国の持続化給付金の考え方をベースに算出し160万円とした。

**町長** 今回は、新型コロナウイルス禍の応援給付金であり、継続的に支給することは考えていない。  
**児玉** タクシー業者が経営困難で営業中止となった場合、交通弱者の交通手段を考えているか。  
**町長** 現在、本町唯一のK・T交通タクシー会社が、コロナ禍において事業を継続してもらっている状況である。今後は、代替タクシーの利用者の掘り起こしにも取り組んでいきたい。

## Q 漂流物の問題は町も一体となって取り組むべき

## A 漁協と連携を図り、関係機関に強く要望する

**児玉** 柏原海岸の漂着物は、海岸漂着物等地域対策推進事業により清掃され、きれいな状態である。

湾内の大木の漂流物はクレーンで引き上げ、その代金は漁協が支払っている。流木等が湾内にあった場合、漁協から役場へ連絡があるのか。  
**町長** 流木除去と処分は、県林務課・水産課、大崎町、本町の漁協担当者も立会いに参加し、東串良漁協において自主的に流木除去を実施している。  
**児玉** 町長は肝属川改修促進連盟会で、肝属川や串良川のごみは全て柏原海岸に漂着するため、その対策と予算の増額を訴えているが、補助金の増額など変化があったか。  
**町長** 平成30年度から海岸への海洋ごみ漂着物については、県の補助事業があり、シルバー人材センター等に業務委託している。

**児玉** 漂流物に対して、漁協だけの費用負担は不公平である。湾内の漂流物は、漁協だけの問題ではなく、国土交通省九州地方整備局志布志港湾事務所に対して、町は漁協と連絡を取りながら、一体となって対処すべきではないのか。

**町長** 急を要する場合、受益者である東串良漁協において、自力で対応してもらい、必要な経費は、国の支援事業を有効に活用してもらいたい。町も流木除去の規模によっては、今後東串良漁協と連携を図りながら関係機関に強く要望し、環境省、農林水産省など各種補助事業の情報提供や関係機関との連絡調整など、できる限りの後方支援をしていく。



▲漁港に流れ着いた流木を撤去

# Q インターネット発信が トップセールスの一つでは A 重要な情報発信の ツールだと認識している



瀬戸山 譲一 議員

**瀬戸山** 町長の現在のインターネットへの取り組み状況は。

**町長** 町長室にインターネットパソコンを設置し、情報収集に努めている。

**瀬戸山** インターネット活用の指針を各課と協議したことはあるか。

**町長** 個人的に情報収集した内容を、各担当課と事業につなげることはできないか、発信可能な情報について随時協議している。

**瀬戸山** インターネット発信がトップセールスの一つだと思いが、町長自身どのように企画、運営しているか。

**町長** フェイスブックに取り組みたいと思っている。インターネット発信についても重要な情報発信のツールだと認識している。

今後ふるさと納税やイベント情報、防災といった生活に密着した情報など、町ホームページ等を活用し適時に発信できたらと思う。

**Q** コロナによる本町産業への影響は

**A** 経営的に厳しい状況の中にある

**瀬戸山** コロナ禍の中、東串良の施設園芸、畜産、露地野菜、稲作、それぞれをどのように状況把握しているか。

**町長** 本町の農業、漁業分野において全ての品物ではないが、コロナ禍の影響により経営的に厳しい状況の中にあると承知している。現在、国の支援事業を有効に活用していただくよう後方支援している。

今後においてコロナ禍の影響により経営水準がさらに悪化する場合は、油断することなく必要に応じ適時適切な支援に取り組んでいきたい。

**Q** 水田の外來生物や水不足への対応は

**A** 関係機関等と連携し問題解決に取り組む

**瀬戸山** 町内の水田に外來種のオオバナミズキンバイや

ジャンボタニシが繁殖し、また水不足の問題が発生している。このことをどのように認識しているか。

**町長** 特定外來生物については、7月の広報紙等で情報の発信と注意喚起を行った。関係機関と農家において共通認識のもと広域的に取り組む。

水不足の問題については、用水路施設改修も多額の費用がかかることから、早急な改修は困難である。問題解決に向け、連携を図りながら農家の皆様と一体となって取り組んでいく。

**Q** 他市町の業者のランクを下げて指名しない理由

**A** 推薦委員会で、ランクは下げないと決定している

**瀬戸山** 建設工事や土木工事の入札に関して、他市町に本社を置く2業者が入札に参加している。他市町に本社を置く業者にはランクを下げて指名するのが通例だと聞くが、

本町はどのような取り扱いをするのか。

**町長** 公共工事における業者のランク付けについては、東串良町建設工事入札参加資格審査要綱に基づき行っている。本町での工事成績、技術者の雇用状況、地域貢献活動、会社の資本力や技術力などを総合的に評価してランク付けしている。指摘の2業者については平成28年に要望書も提出されたことから推薦委員会で協議を行った結果、他市町に本社を置く業者としてランクを下げるという取扱いはしないことに決定した。

**瀬戸山** 東串良も他市町にならって考えないといけないのではないか。

**総務課長** 関係市町の状況を見ながら業者の納税状況等も確認し、推薦委員会で最善な方法で検討していきたい。



宮地 利雄 議員

# Q 少人数学級への 意見等に対する認識は

# A 1クラス30人以下を訴える 意見が出されている

**宮地** コロナによって、20万人程度の少人数教室を経験した生徒や保護者、教員から少人数学級に向けた新たな取組が必要だ、という主張がある。教育長は、少人数学級に対する取り組みや意見について、どのような認識でいるか。

**教育長** 現在の規定では、小学校1年生が35人、2年生から6年生までと中学生は40人となっている。1クラス30人以下の学級編制の早期実現を訴える意見が多く出されている。

一方で、とにかく教員が不足している。

**宮地** コロナ対策で少人数教室を体験した子どもたちは、「先生が私の席の周りをぐるぐる回ってくれた。私のことを気にかけてくれていた。うれしかった。」と喜んでいる声があった。

日本共産党は、学校再開に当たっての緊急提言を6月に発表した。内容は、「教員を10万人増員すれば、全国の教室で20人程度の授業ができるようになる。教職経験者が約



▲少人数学級が望まれる

20万人おり、待遇も含めてきちんとした対応を取れば、教員の確保もできる。子どもたちに、ぜひ少人数学級をプレゼントしようじゃないか」という提案である。

教室を増やすという問題では町当局も一緒に議論に参加しなければならぬと思うが。

**教育長** 本町の4月当初の実態だが、柏小・池小・中学校ともに、今希望している30人学級に近い。今のところ、教室の増設というのは、厳しいと思う。町当局と正式にそのことを討議したことはない。

**町長** 今後の教室の増設については、教育委員会から要請や要望があれば協議したい。

**Q** 災害時のベッドやトイレの確保は

**A** 物資調達協定に基つき確保する

**宮地** 台風10号への対応について、避難所で避難用テントの住民の反応がよかったと聞いているが。

**町長** 快適であったという声があった。

今回の台風10号では、保健センターにファミリールーム18張、プライベートルーム5張を設置し、防災センターにはファミリールームを5張設置した。

発注分と合計すると、ファミリールーム1107張、プライベートルーム10張が確保できる予定である。

なお、車椅子に乘車した状態での出入りも可能である。

**宮地** 段ボールベッドの設置も考えるべきではないか。

**町長** 必要性を認識している。町では、平成28年7月に段ボール製品の調達に関する協定書をエスパック株式会社と締結している。内容は、避



▲ファミリールーム用避難テント

難生活が長期化する場合には、避難所の設営で必要な物資として段ボール製簡易ベッドを速やかに搬送する協定である。

**宮地** 内閣府が求めている災害時のトイレの確保、管理計画について、本町はどうか。

**町長** 本町の町域防災計画では、災害時は水の供給不足から処理が不能となることを想定し、仮設トイレの確保を図っていく。これもエスパック株式会社との協定に基づき必要物資の確保を図りたい。

# Q. 高校受験を控える中学3年生へ 学習支援金の検討は

## A. 子ども手当もあるため、 支給は考えていない



小川 香織 議員

**小川** 前回、新型コロナウイルスによる児童生徒の学習の遅れや習熟度の低下に対する支援政策として、学習指導員の配置や増員について質問したが根本的な解決策は見出されていない。

8月に、本町では新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学業に腐心している高校生に1人3万円の支給を政策として挙げている。高校受験を控える中学3年生への学習支援も検討できないか。

**町長** 教育長から夏休みを1週間程度短縮するという回答で、実質は3日間の短縮であった。授業の遅れはほぼ解消できている。

受験生のための支援は、小学生は子ども手当があり、えがお給付金で大人と同じ額を補助しているため、今は特に考えていない。全中学生が塾に行くなら別だが、お金の支援だけでなく、子どもの目線に沿って、親と子のコミュニケーションを取り、能力を引き出してあげたら子どもたちの成績が伸びていくと思う。

**小川** 親と子どものコミュニケーションが取れないから成績が悪いというのに結びつけるのはどうか。共働きのよって、家庭に余裕がないところもたくさんある。その中で学校に対する期待、町長に対する期待というのは大きい。

### Q. 急な休校時などに 子どもの栄養面を 考えた食事支援は

#### A. 考えていない

**小川** 就学支援を受ける家庭が増加し、生活様式が多様化する中、安心して子育てを行え働けるよう、町として地域住民と協力し、食の支援や子ども食堂、食事支援事業の実施を検討していくべきだ。

子育て世代の救済に自治体予算を組んで、子ども食堂や食事支援事業等を財政的に支援している自治体もある。

#### 町長

基本的には、子どもの食事は保護者が責任をもつて与えるべきだと思っている。子ども食堂は本来、個人や団体のボランティア活動で成

り立つものと認識している。そういう活動があれば、各関係機関や関係課に相談しながら検討していきたい。現状では、食事支援は考えていない。

### Q. 高齢ドライバーや 交通弱者への支援

#### A. タクシーを利用して いただきたい

**小川** 県警察本部から配布される令和元年の交通事故実態報告では、高齢者の交通事故死者数は鹿児島県43市町村において、本町は1位と記載されていた。高齢化社会に伴う免許返納や交通弱者が安心して免許を手放すことができるような考えはあるか。

**町長** 交通手段がない方は、タクシー利用を勧めたい。柏原地区で条件を満たす方は、バス廃止路線代替タクシー運行事業を利用できる。

今後は、柏原地区以外のタクシー利用者については、乗り合い制度を活用できる仕組みを構築し、タクシー利用料金の負担軽減につながる措置

も講じていきたい。このようなニーズに町だけで十分な対応をすることは極めて困難。

**小川** 柏原地区以外の方に限らず、柏原の方も含めて、柏原の方と同じような料金設定で乗れるのか、住んでいる場所によって恩恵を受けられないというのは違うと思う。負担金が統一されたり、大きくならないような政策を協議してもらえないか。

#### 企画課長

交通弱者の皆様方に対していろいろ負担が多い方もいるとは思いますが、この場で方向性の答弁は致しかねる。今後、公共交通の会議のほうも立ち上げて様々な関係の方々とも意見を出し合って、研究してみたい。

#### 【その他の質問】

福祉関係、漁業への支援について質問しました。

※答弁については会議録参照

## 9月議会・臨時会

# 議案等に対する 議員の賛否状況

**採決**とは、議長が議案等について出席議員に賛否の意思表示を求め、それを集計することを言います。

**表決**とは、議員が議長の採決に応じて、賛成・反対の意思表示をし、議会の意思決定に参加することを言います。表決には、起立によるもの、投票によるもの、異議の有無の確認のみを諮る簡易採決の方法があります。

※過半数で議決すべき場合には、議長には表決権がありません。

(備考:○…賛成 ×…反対 欠…欠席)

	議案等の 番号	件 名	賛否の意思表示									議決結果	
			小 川	児 玉	瀬 戸 山	牧 原	西 園	泊 田	前 田	上 園	宮 地		田 之 畑
臨時会	承認第 8号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度東串良町一般会計補正予算(第5号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
	議案第50号	令和2年度東串良町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
9月議会	同意第10号	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	発委第 2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	発委第 3号	国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第51号	東串良町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第52号	東串良町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第53号	東串良町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第54号	令和2年度東串良町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第55号	令和2年度東串良町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第56号	令和2年度東串良町介護保険事業(保険事業勘定)特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第57号	令和2年度東串良町介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第58号	令和2年度東串良町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第59号	令和2年度東串良町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第60号	損害賠償の額を定める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	議案第61号	令和2年度東串良町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	認定第 1号	令和元年度東串良町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	認定第 2号	令和元年度東串良町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	認定第 3号	令和元年度東串良町介護保険事業(保険事業勘定)特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
認定第 4号	令和元年度東串良町介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定	
認定第 5号	令和元年度東串良町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定	
認定第 6号	令和元年度東串良町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定	

# 令和2年8月～10月 定例会及び委員会、町内行事等への出席状況

(備考:○…出席 ×…欠席 -…該当なし)

日付	会議・行事等	小川香織	児玉勇治	瀬戸山讓一	牧原完治	西園貞美	泊重巳	前田隆	上園ミキ	宮地利雄	田之畑稔
8/4	広報広聴常任委員会、全員協議会、特別委員会（防災・減災）	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×
8/20	第5回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8/28	議会運営委員会	-	○	○	○	○	-	-	-	-	○
9/4	広報広聴常任委員会	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-
9/7	議会運営委員会、全員協議会、 新型コロナウイルスに係る調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/10	第3回定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/11	総務民生常任委員会、教育産業常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/14	全員協議会、広報広聴常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/15	第3回定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/16	決算審査特別委員会	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-
9/17	決算審査特別委員会	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-
9/18	決算審査特別委員会	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-
9/23	決算審査特別委員会、広報広聴常任委員会	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-
9/24	各常任委員会（総務民生、教育産業）、全員協議会、 新型コロナウイルスに係る調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/25	決算審査特別委員会	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-
9/28	第3回定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10/1	全員協議会、広報広聴常任委員会	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
10/13	総務民生常任委員会所管事務調査	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-
10/20	常任委員長研修会	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
10/24	土地改良施設ボランティア	○	×	×	○	×	○	○	○	×	○
10/26	総務民生常任委員会	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○
10/27	第6回臨時会、教育産業常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

## 議長の公務一覧

日付	用務	場所	備考
8/27	郡議長会定期総会	東申良町役場	
10/8	木材PR・木材需要拡大も要望活動	東申良町役場	

### 祝 総務大臣感謝状を 田之畑議長が受贈

田之畑稔議長が町議会議員として35年以上在職し、地方自治の振興発展及び住民福祉の向上に尽くされた功績に対し、総務大臣より感謝状が贈られました。



### 田之畑議長が会長に就任 — 鹿児島県町村議会議長会 —

令和2年6月8日付で、田之畑稔議長が、鹿児島県町村議会議長会（県内の24町村で構成）の27代目会長に就任されました。

会長の任期は2年（令和4年6月7日まで）です。

田之畑議長は、23代目の会長（平成24年5月16日から平成28年5月11日）になられた経緯があり、今回の会長の就任で2回目となります。

# 地域課題を 解決するための一考察

瀬戸山 譲一

木の問題はその頻度が増すばかりで、責任の所在がはっきりせず、度重なる出費をどのように判断処理していくか、これが「課題」だったようだ。

このことを自分たちは知る由もなかった。

そのような声が右往左往する中で、それを聞きつけた地元の議員が9月の一般質問で取りあげた。

今まで、クレーン代、処分費用は全て漁協の負担であることは先ほど述べたが、最近では、処分費用は役場の方で肩代わりしてくれていたようだ。

## ■解決の糸口

今回は更に踏み込んで、台風時、または洪水時は、それぞれに鹿児島県、国土交通省、農林水産省等も、流木その他の災害時は資金面も含めて対応してもらえるように手続きの窓口が開かれるようだ。

まだ完全な形ではないにしても、皆さんの声が行政に届いたということになる。

いわゆる「解決法」に道筋が見ついたということになる。

漁師の方によれば、漁業にもまだ様々な「課題」があるようだが、今回のことがきっかけで、問題解決が図られればいいと思う。

今回の過程を見て、私も学ぶべきことが、多々あった。議会も町の皆さんと一緒に問題解決の物語を作ることができたらと思う。

## ■漂着ゴミの悪循環

柏原の漁業、波見漁港、そして柏原海岸には、まだ、大きな「課題」がある。それはゴミ問題である。

「白砂青松」を謳っている柏原海岸は、ゴミだらけである。私たちが小さい頃はゴミ一つない美しい海岸で水浴びとかやったものである。現在は肝属川から流れ着く家庭ごみ、釣り客が放置するゴミで目も当てられない状態である。

これらは、景観を損なうと同時に、ゴミは魚具に詰まり、作業に大きな支障をきたす外、外洋に出るとク

ジラ、イルカ、シャチ、ウミガメや、この頃は私達が口にする魚のお腹にまで入り込んできていることが分かっている。

このことは以前、この議会だよりも書かせていただいたが、再度、申し上げたい。このゴミ問題の解決なくして地球の未来はないと考えるからだ。

## ■シンポジウムをきっかけに

今回テーマにした地域課題を解決するための一考察において、「課題とその問題解決」の手法を用いるならば、このひどい状況を明るく未来に変えるために、まず、「海」をベースにしたシンポジウムを開催したらどうだろうか。

もちろんゴミ問題を扱う子どもたちへの環境教育、なぜ魚が獲れなくなったのかの科学的アプローチ等、様々な提言ができるチャンスの場であるから、必ずや、問題解決できるきっかけをつかめると思う。

## ■大雨による流木の処分

今年7月の大雨で肝属川から流木が海へと流れ込み、柏原の漁師の船の網に巻きついた。当然、漁ができなくなった。

そこで、地元のクレーン業者に頼み、流木の除去作業を行った。当たり前前のことだが、ここにクレーン代と流木の処分に費用が発生する。

しかし、どの誰の物か分からないこの流木。そして公海上での出来事。その責任の所在が不明のまま、かかった費用は今まで東串良漁協が組合費から全て捻出してきたようである。



災害ゴミの撤去には、労力と費用が大きいのしかかる



突然ですが、

# インタビュー!!

新型コロナウイルスによる生活の支援策として、これまで一律の給付金やプレミアム付き商品券の販売等もありました。

そこで、住民の方々の反響（生の声）を聞いてみました。

## プレミアム付き商品券に関する声

※1万5千円の商品券を1万円で販売

- 商品券が町のいろいろなお店で使えることを知り、いろいろ買いたいと思った。
- 割増があったことで、久しぶりに外食に行くことができた。もう一度販売してほしい。
- 割増付商品券は、柏原で使えるお店が少なかった。池之原まで気軽にタクシーで買い物に行けるような制度があれば、タクシー会社も利益があり、ガソリンスタンドも利益が生まれる。お金を支給するだけでなく、そのあとがまわるような政策を考えてほしい。

## その他

- 今回のえがお給付金等は、議会に提案されるまでに、どのような過程があるのか知りたい。（だれが協議し、検討をしているのか）
- 町民の意見を聞いてほしい。声が届いていない印象がある。
- 議会で一部のお店だけを調査するのではなく、全部まわり、新型コロナウイルスの影響の調査をすべきである。

## えがお給付金に関する声

※1回目 1人1万円 / 2回目 1人2万円

- 使いみちが自分で選べて現金支給はよかった。
- 町内での飲食や買い物、家電の買い替えに使った。
- 町民同士で助け合うという点から、現金よりも商品券の方がよかった。
- えがお給付金事業はどこの町よりも早かったが、町民の意見を聞くなど、もっと協議をしてほしかった。

## 学業支援給付金に関する声

※大学生 1人5万円 / 高校生 1人3万円

- 大学の試験会場が県外のため、学業支援金（3万円）は受験にかかる交通費等に充てたいと思う。
- 娘は、自分で働いたお金で生活を送っていたが、今回の新型コロナウイルスでアルバイト先が閉店するなど収入が減り、アルバイト先もなかなか見つからず生活が厳しい状況だった。  
しかし、町からの学業支援給付金（5万円）により、とても助かった。また、えがお給付金もそれにプラスし、仕送りができたので助かった。

インタビューに答えてくださった皆さんご協力ありがとうございました。

残念ながら、今回は、隅々までインタビューできなかったのですが、もし、この記事を読まれて関心のある方、私にも意見を言わせてほしいと思われる方、ぜひ、次のページで案内している「みんなで語る会」に参加してみませんか？

令和2年

# みんなで語る会

町民と議会との意見交換会を開催します



東串良町キャラクター  
ルピノン

● **テーマ：いい町づくりのために**

(教育や福祉、防災、農業など、町政に関するみなさんの意見やアイデアをお聞かせください)

● **日にち：【池之原校区】11月22日(日)**

**【柏原校区】11月29日(日)**

● **時間：午後1時～(受付)**

**午後1時30分～(90分程度)**

● **場所：役場3階 委員会室**

● **参加方法：事前に申し込み**



※今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数を各校区**18名**とします。そのため**事前の申し込み**が必要となります。参加を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

(！新型コロナウイルスの状況によっては、中止もあります。)

### 【参加する際のお願い】

- 会場内では、マスク着用をお願いします。
- 会場入り口に消毒液を設置しておりますので、入場の際はご使用をお願いします。
- 当日、体調がすぐれない方は出席をお控えください。

### 【申込期限】

(池之原) 11月17日(火)まで

(柏原) 11月24日(火)まで

議会事務局 ☎63-3132 (直通)

(土日を除く 8時半～17時まで)

※18名を超える場合は、抽選を行います。

# 町内の巡回活動

定期的に議員全員で町内を巡回し、道路等の危険箇所を調査しています。調査後、意見の集約を行い、町の所管課へ改善要求を行っています。

★巡回19回目★  
令和2年8月4日  
巡回地  
岩弘・池之原・  
永峯・川西



◀▲7月の大雨により、土砂崩れが発生した箇所を調査。  
【岩弘下中線(写真上)、市之坂線(写真左)】



▲7月の大雨により陥没した道路を調査。【岩弘下中線の一部】



▲両岸に生い茂る竹、草木等が、大雨時に橋げたに引っかかり増水の危険がある箇所を調査。【堅田橋】

## キュウリにも被害

7月の大雨でハウスが水に浸かり被害のあった箇所を調査。土側溝であり、排水機能が低いことを確認。  
【松留さんハウス前の側溝】



拡大



▲通行人がいても、車が止まらない横断歩道を調査。【国道220号線】

危険箇所等調査してもらいたい所がありましたらご連絡ください。  
【連絡先】東串良町議会事務局 ☎0994-63-3132

## 12月議会のお知らせ

12月議会は、10日の開会を予定しています。

1階ロビーのテレビでも議会中継をご覧になれます。

町政を知る良い機会ですので、役場へお越しの際は、ご覧ください。

※本会議については、防災無線でお知らせします。



# クイズ!

正解者には  
抽選で  
図書カード進呈!  
ふるって  
応募ください!



下の写真の花の名前は  
次のうちのどれでしょうか?

! ヒント：夏の夜、一晩しか咲かない花です。

- ① 星下美人
- ② 月下美人
- ③ 灯下美人



## 【応募方法】

- 郵便はがきに、次の事項を書いて議会事務局までお送りください。
    - ・クイズの答え
    - ・住所、氏名、年齢、電話番号
    - ・議会だよりの感想や、町政に対するご意見、議会へのご要望など  
(ひとことでもいいです。)
  - 1家族につき、1枚の応募とさせていただきます。
  - 正解者の中から抽選により、3人の方に図書カードをお送りします。
  - しめきりは、令和2年12月10日です。(当日消印有効)
  - あて先  
〒893-1693 東串良町川西1543  
東串良町議会事務局
- ※なお、正解者は、本人が特定されない範囲内で掲載させていただきます。

## 議会だよりクイズ第12弾の答え

問題 社名は次のうちのどれでしょうか。

- ①山貫神社 ②田貫神社 ③宮貫神社

答え ③ 宮貫神社

応募総数2通、正解者2人、正解者2人に図書カードを進呈しました。(池之原・12歳・女性)、(池之原・7歳・男性)

# 議会だよりに投稿しませんか

例えば

- 1. この町に住んで感じること
  - 2. 議会を傍聴して(感想等)
  - 3. 将来の夢
  - 4. 東串良町の未来図(図画)
  - 5. 自慢のワンショット写真
  - 6. イラスト . . . . . など
- 1～3の文字数については、500字以内をお願いします。なお、添削する場合があります。

## 【応募方法】

東串良町議会事務局まで郵送またはメールで応募してください。(持参可)  
なお、応募者は次の事項を必ず記入してください。

住所、氏名、年齢(学校名と学年)、電話番号、匿名希望者はペンネーム

【応募先】 〒893-1693 東串良町川西1543番地 東串良町議会事務局  
メールアドレス：gikai@higashikushira.com

【しめきり】 令和3年1月8日必着

【注 意】 作品の返品はいたしません。



● 議会だより「東くしら」に採用された方には、図書カードをお送りします。

● 応募作品は、第148号(2月発行)で掲載する予定です。

投稿  
まって  
ます!



# 輪和話のひろば

Vol.29

このコーナーは、町内のあちらこちらの「ひろがり」や「つながり」を伝える目的で企画しました。名付けて『輪和話のひろば』です。町民の皆さんに登場していただき、もっと議会だよりを身近に感じてほしいと思います。

また、ご一報いただければ取材に伺います。よろしくお願いいたします。



大豆をつぶすところから始めます👍



発酵させたらおいしいみそが完成♪

## みそ作りを楽しむ

J A 女性部

今回は、鹿児島もつぎ農協女性部（東串良支部）の活動を紹介します。鹿児島もつぎ農協女性部は、本部組織の女性部が発足した当時から活動を始めており、すでに50年以上活動を続けています。これまでの活動の中では、焼き肉のタレなどを作り、高齢者福祉大会に無償で提供したり、販売していたこともありま

現在は、4〜5名のグループに分かれ、憩いの家の加工場を拠点に、10月の頃、みそ作りにも励んでいます。ここで作ったみそは、販売はしていないものの、各グループがそれぞれメンバー1年分のみそ作りを楽しんでいます。

農協女性部は、女性部会員で構成されています。どなたでも会員になることができます。たわいのない話をしながら、様々な活動を通して、仲間づくりになればという思いから活動は続いています。仲間とわいわいしながら家族のためにみそを作ることがやりがいと楽しみにつながっています。

おいしいと評判です。これからも女性部会員の仲間づくりに頑張ってください。

（取材 西園 貞美）

## 表紙の案内



10月13日の1歳6か月児健診時に町から子どもたちへ、ブックスタートとして、2冊の絵本のプレゼントがありました。

表紙の写真は、ブックスタートで絵本をもらった岡元さん親子です。表紙の表情は少し硬いですが、お母さんと話すうちに笑顔を見せてくれました。(写真左)

さっそく親子で絵本を開いて、お母さんの言葉を真似したり、絵本に出てくる食べ物を食べさせる動作をしたりと絵本を楽しんでいる姿も見られました。(写真右)

## 編集後記

10月1日の朝、格安航空会社の倒産が報じられた。コロナにより、乗客が大幅に減ったことが原因らしい。大変な世の中になったものだと痛感せざるを得ない。

我々、議会も出張や勉強会がほとんど中止、キャンセルである。この議会だより連載の「議会の見聞録」も、この理由で掲載できなくなりました。この状態がいつまで続くのだろうか、これからどうなるのだろうかと色々と思案してしまふ。

ウィズコロナとか、コロナ

との共生とか言われるようになっていく。しかし、コロナの実態は、ほとんど分かっていない。様々な情報が飛びかき、要領を得ない。だからといって止まるわけにはいかない。地域や経済を衰退させない知恵と行動が今こそ議会に求められていると思う。

瀬戸山 譲一

（お詫び）議会だより146号 2ページ農業委員の氏名に誤りがありました。正しくは、  
豎山 秋敏さんです。  
大変申し訳ありません。